

令和2年度 第10回

病院経営戦略会議報告

日時 令和2年8月4日（火） 13時00分～14時30分
場所 3階会議室1・2
出席者 堀之内院長 窪地経営戦略特命参与 小山副院長 増田副院長
安西看護部長 細沼病院経営部長 越田病院総務課長 赤沼病院施設管理課長 浅野病院財務課長 若林医事課長 増田情報管理室長 日向患者支援センター副所長
事務局 坂口病院総務課長補佐

内容

◎越田病院総務課長

【報告事項】

(新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金について)

- ・正式な通知が届いていないが、県のホームページ上では公表されている。
- ・対象者は2月1日から6月末の勤務状況で判断し、異動、退職者も含まれる。
対象となる委託業者（警備、清掃、ソラスト）は、各所管課で対象者を確認する。

(さいたま市産後ケア事業事務（デイサービス型）の委託契約について)

- ・さいたま市において今年の10月より事業を開始する予定。保健所地域保健支援課が事業主管となる。
- ・当院としては、院長、安西看護部長、矢久保先生、明石先生、事務局職員で受託できるか協議を行い、デイサービス型について市と委託契約を結ぶこととなった。
- ・受託契約をするにあたり、当院かかりつけの患者であること、PCR検査、賠償保険に加入すること等条件を付す必要があるとの意見があったので、今後、市と調整を行う。
- ・今後、医事課において利用料金について規則改正を行うこととなる。

(病院経営部職員の夏季休暇適用期間の延長について)

- ・事務職員の適用期間は通常、9月末までだが、今年度は新型コロナウイルス感染症の対応に伴う業務量の増加により、医療職員と同じく10月末まで延長することとした。

(令和2年10月1日付け採用 看護職員採用選考について)

- ・8月1日現在の看護師職員数が計画より7人少ない状況のため、8月8日(土)に採用選考を実施する。現在、募集人数5人程度に対して応募が4人となっている。

(寄附採納について)

- ・寄附の採納については、今日現在で今年度累計92件となっている。7月上旬時点で90件であったことから、寄附申入れは落ち着いている。

◎赤沼病院施設管理課長

【協議事項】

(コロナ病棟開設に向けた簡易陰圧装置の設置(9B、ICU)について)

- ・9B病棟の1~14号室に簡易陰圧装置を設置し、陰圧化を図る。また、4階ICU病棟の開放室の4床を1床ごとに間仕切りをしたうえで、簡易陰圧装置を設置し、陰圧化を図り、そのうち1床は前室として使用する。以上の改修等を進めてよいか協議したい。
 - 浴室の位置、エレベータの運用等の問題を踏まえると、9B病棟をコロナ用病棟にするのではなく、8A病棟をコロナ病棟とし、8A病棟(精神科病棟)は9B病棟に移動し、9B病棟で診ることができる精神科患者さんのみを受け入れるということにするほうが良いのではないか。(小山副院長)
 - 8A病棟をコロナ病棟とする案は検討する価値があるが、課題もあるので、課題整理等を行い、改めて別の場で協議することとする。(堀之内院長)

(救命救急センター開設に向けた配置計画の変更について)

- ・救命救急センターの医師控室を6名体制での修繕を今年度行い、来年度8名体制としての修繕を行う。また、災害対策室を器材室として転用するため、災害対策室を3階講師控室へ移動する。その他、現在調整を進めている部分については、調整が整い次第対応を行う。以上の方向性で改修等を進めてよいか協議したい。
 - 最終的な図面が決まった段階で承認を得ることとし、改修する方向で進めることを了承する。(堀之内院長)

【報告事項】

(9B病棟のコロナ病棟開設に伴う専用EVの運用検証について)

- ・本日、9B病棟のコロナ病棟開設に伴う専用EVの運用検証として、外来用エレベータ2基での運用を実施したが、エレベータ室内が密な状況であったため10時40分で中止した。

→ 今回の検証結果により、専用E V化は難しいことが分かったので、移動が必要な際はコードイエロー対応とする。(堀之内院長)

◎若林医事課長

【協議事項】

(歯科インプラント治療の自費料金の設定について)

前回の戦略会議における課題についての回答

- ・ 歯科インプラント治療については、安全に確実な治療を行うために、歯科医院と二次医療機関の連携した共同診療が推奨されており、当院は歯科医院に対する後方支援がメインとなる。基本的に、患者の状況により歯科医院での対応が困難な場合に外科手術を当院で行い、それ以降の人工歯の取り付けやメンテナンスについては歯科医院で行うこととなる。
 - ・ 他院で実施したインプラント治療後に発症した炎症の治療や不具合による除去などについて、当院での治療希望があった場合は保険診療となり、応召義務があるため引き受けることとなる。
 - ・ その後の自費診療となる新たな治療については、歯科医院が主治医となって、当院は後方支援をメインに主治医と連携して治療を進めていく。
 - ・ 当院で行う手術については、患者には合併症、併発症、予後、メンテナンスについての説明をした上で同意書を徴取する。
 - ・ 、民業圧迫についてであるが、料金設定については、インプラント治療を実施している近隣の歯科医院の設定金額を参考にしながら、歯科口腔外科医師と協議して設定した。今後、本庁の財政課と料金設定の細かい部分について協議していくことになる。協議経過については、別途報告していく。
- 地域の医療機関と調整して診療を行うとともに、地域医療を補完するために診療を行っていくうえで、自費料金を設定する必要があるので、協議を進めることを了承する。(堀之内院長)

(保険証オンライン資格確認導入時期について)

- ・ 先月の戦略会議において、令和3年度末までに導入したいということで来年度当初予算要求に間に合うよう導入可否を諮らせていただいたが、システムの詳細が現時点で判明していない状況であり、業者から参考見積を徴取することができない状況である。このことを踏まえ、導入時期を延期し、令和4年度以降の導入としたいので協議をしたい。
- 保険証オンライン資格確認については早期導入をしたいと考えているが、システム仕様の詳細が判明していないのであれば延期するのはやむを得

ないので了承する。(堀之内院長)

◎増田情報管理室長

【報告事項】

- ・6月と7月に実施された院長ヒアリングにおける各診療科等からのシステム関係の要望に対して、その要望が実現可能なのか検討を進めている。

◎安西看護部長

【報告事項】

- ・感染外来が現在混雑している状況にある。感染外来の体制を検討し、体制の再整備を行っていく。
- ・診察後の患者さんが検査結果等を待つ場所をどうするか検討を進めていく。

◎小山副院長

- ・保健所から依頼のあったPCR検査を行う際に、患者ごとにカルテを作成することが手間であると同時に感染外来が混雑する原因となっている。初診料、診察料を取らず、カルテ作成しないで検体採取だけで済むようにできないか。
 - 初診料等の取り扱いも含めて、保健所から行政検査を依頼されている他施設がどのように行政検査を行っているのか確認してほしい。(堀之内院長)
 - PCR検査の検査料は、レセプトでの請求となっているので、初診料、診察料等とセットでの請求になっていると思われるが確認する。(医事課長)

◎堀之内院長

- ・感染管理室が業務過多の状況となっていることから、負担軽減のためにPPEの管理について病院経営部の協力をお願いしたい。
- ・カルバペネム耐性の大腸菌について調査を実施した。1名を除いて陰性であった。今後も経過観察を行っていく。